可也公民館だより

２０１９年　９月　１日発行
糸島市立可也公民館　　月曜日休館
糸島市志摩初１８番地
TEL／FAX　３２７－１７３４
E-mail：kaya.k@city.itoshima.lg.jp
No.１２３号
公民館だよりは毎月１日発行です

通学合宿期間中は公民館の部屋の利用はできません

9月2日(月)～8(日)

9月8日（日）13:00～22:00 は、休館させていただきます

8月24日(土)～25日(日)通学合宿事前研修を行いました！

親子料理教室では、JA 可也女性の会「椿会」のみなさんに講師として来ていただき「夏野菜のカレー」などを作りました。お父さんやお母さんが手を添え一緒に頑張りました。自分たちで作ったご飯は美味しかったですね！

九州大学からは「九大FEEL」のみなさんと科学実験、パラシュートを作りました。夜はちょっぴり寂しかったけど、みんなでねむりました。本研修でも頑張る！と頼もしい声も聞こえましたよ。

小学生ドッヂビー大会　優勝！薫る坂Ａチーム！！

7月28日（日）可也小体育館において、可也校区小学生球技大会（ドッヂビー）が開催されました。参加２３チーム、トーナメント方式にて行いました。うだるような暑さの中、子ども達の顔は真剣そのもの・・・保護者の応援にも熱が入り、会場はさらに熱気に包まれていました。

当日はけが人もなく、熱中症など参加者の体調管理が心配されましたが無事に大会を終了することができました。ご協力いただいた校区役員・子ども会役員の皆さまお疲れさまでした。

また、ご声援頂いた地域の皆さま、ありがとうございました。

《成績発表》

優　勝	薫る坂Ａ	準優勝	稲留
第３位	新開	敢闘賞	井田原

中学生ソフトバレー大会　５年ぶりに開催されました！！

8月18日（日）可也小体育館において可也校区中学生球技大会(ソフトバレー大会)が５年ぶりに開催されました。参加 23 人、6 チーム、リーグ戦方式にて行いました。真夏の体育館は暑いけど、この日は気温も安定し、選手はもちろんスタッフを含めた全員が楽しく、真剣に試合に挑むことが出来ました。みんなが協力し最後まであきらめず頑張れたのは、家族や友達の応援やサポートがあったから！！

地域の皆さまありがとうございました。

≪９月・１０月上旬主な行事≫

９月１日（日）8:00 志摩地区市民バレーボール大会
　２日（月）～８日（日）通学合宿
　　※公民館の利用はできません
※　８日（日）午後（13:00～）は臨時休館
　10 日（火）10:00 未来塾「糸島市の財政について」
　11 日（水）18:00 区長会
　13 日（金）10:00 ダーツ kaya
　21 日（土）10:00 男厨喰楽部「フィールドワーク」
　21 日（土）10:00 しま歴史探検隊「新町遺跡見学」
　27 日（金）14:00 文化祭参加者会議

９月 28 日（土）14:00 アンビシャス広場
「石窯料理」
　29 日（日）可也小学校運動会
10 月　３日（木）
「ぴかぴかシルバー・かしまし学級」
バス社会見学
　５日（土）いとしま市民まつり
　６日（日）いとしま市民まつり
※公民館の利用はできません
　９日（水）10：00 かしまし学級
「クラフトバスケット」
　10 日（木）楽々ウォーク「姫島めぐり」
　11 日（金）10:00 ダーツ kaya

コミュニティセンターの
愛称を募集

まちづくりをさらに推進していくため、令和２年４月から市立公民館を、さまざまなまちづくり活動が可能となる「コミュニティセンター」（略・コミセン）に更新します。
そこで、これまで以上に市民の皆さんに親しまれ、広く活用してもらえる施設となるよう施設の愛称を募集します。

問い合わせ
糸島市地域振興課（TEL332-2062）
公式ＨＰより
コミセン　愛称　検索

愛称募集期間
８月１日(木)～９月３０日(月)　※当日消印有

「現在の名称」**糸島市立可也公民館**　→「令和２年４月からの名称」**糸島市立可也コミュニティセンター**

館長の独り言（８９回）
来訪者

例年の台風シーズン前に今年は、すでに台風が２度上陸し、その都度、自主避難所を開設した。台風 10 号の時は、大型台風との予報より風雨も弱く、幸い自主避難する方もいなかった。安堵したのも束の間、区長・自治会役員・通りすがりの人・サークル活動の人たちの来館が次々とあり。行政区の堅苦しい相談事から道案内、世間話まで対応に追われた。こんな日でも公民館を頼りにして頂いている様でいささか嬉しく、にんまりしたが、顔見知りの地域の方に、この話をすると「公民館しか開いとらんけんやろ！」と一喝。「うーん！なるほど！」と納得し、甘い思考を反省した。
天候に恵まれた日祭日の公民館は、観光案内所化する。
「可也山へ登るには？」「志摩の四季はどこですか？」「桜井神社への道のりは？」まれに「美味しいラーメン屋さんはありませんか？」等、様々な方が訪れる。先日も香港からの女子高校生３人組の観光客が公民館玄関に現れた。ちょうど在館中の大人３、４人掛かりで「公共機関で二見ヶ浦へ行きたい。どうすればいいですか？」と尋ねられている事を理解したが、生憎、路線バスも無く当方の語学力不足もあって返答には苦慮した。このままでは、我がまちの印象も悪くなると思い二見ヶ浦・前原駅間を送迎した。車中、スマートホンの翻訳機能と中学程度の英単語を並べての会話で、どうにか意思疎通が出来た。それにしても香港の高校生の行動力には恐れ入った。同世代の孫を持つ身としては、彼女たちが輝いて見えた。
公民館は、来年度より「生涯学習の拠点」から「まちづくりの拠点」に利用の間口が広くなり来館者も今以上に増加しそうである。千客万来を期待するところである。
因みに、可也公民館の年間来館者数は、福岡ドームの満席数とほぼ同数である。

無花果亭（いちじくてい）やーかー

インリーダー研修を実施しました！

８月１７日（土）可也公民館において、校区子ども会育成会連絡協議会（校子連）主催で小学校のリーダー５・６年生を対象にインリーダー研修が行われました。
地域の子どもたちが縦のつながりで遊んだり、球技大会の練習など何かに取り組んだりする時にリーダーとして活動できるような知識や技能を、交流を通して学ぶことが目的です。
この日は、２８人の子どもたちが参加し、福岡県レクレーション協会の指導をいただき、室内遊びでは紙を手に乗せて鬼ごっこなどをしました。参加の小学生からは「運動をすることが苦手なので楽しかった。今後リーダーとしてまとめていきたいです。」との声や「違う学年の人や知らない人とも話すことができ考える力がついた。」などの感想がよせられ充実した一日をすごせました。校子連役員、ご協力いただいた保護者の皆さま、ありがとうございました。